

# 地区表現 ユニークベンチ

総社

昭和五つ星学園にお目見え

総社市昭和地区の5小中学校・幼稚園を再編して本年度開校した「昭和五つ星学園義務教育学校」のフロンティアキャンパス（同市美袋）に今月、ユニークなベンチがお目見えした。全5台あり、組み合わせると同地区の区域の形が表現できる。交流に役立ててもらおうと、地元住民グループが生徒有志や県立大（同市窪木）の学生らと協力して作った。（寺尾彰啓）



5台を組み合わせると昭和地区が浮かび上がるベンチ

## 5校園再編踏まえ 5台でデザイン 住民、生徒ら制作

県産ヒノキ製。5校園の再編を踏まえ、5台全体でひし形のような区域をかたどったデザイン（1辺2.4m程度）になっている。座面の高さを3台は45cm、残りは60cm、70cmと変え、高い2台はテーブルとしても使える。

旧昭和の中だったキャンパスは、校庭に地域との交流スペース「夢広場」があることから、住民グループ「おかやま昭和暮らしプロジェクト」が企画し、同大の島和宏デザイン学部准教授の研究室に制作を依頼。3月下旬に旧昭和と1年生（現在の学園8年生）の有志10人や大学生らが塗料を塗るなど作業して完成させ、今月1日にお披露目された。

ベンチは普段、広場内に別々に置いて利用し、イベントなどの際に組み合わせ活用するという。制作に携わった8年中山乃愛さん（13）は「達成感でいっぱい。地域の人と語らうほかにもいろいろな使い方ができそう」と話した。

（C）山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。